

滝川市DX推進計画<概要版> - 心が育ち 人を紡ぐ いつまでも住み続けたい “ちょうどいい田舎” をDXにより実現

DX活用による変革を通して地域の利便性を向上 本紙P.3

- インターネットやスマートフォン、さらには生成AIを始めとするAI技術の発展・普及など、デジタル技術の進化は著しく、私たちの暮らしや社会の在り方が大きく変化しています。
- 2020年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、非接触・非対面が推奨されたことにより自治体においても、テレワーク、オンライン会議、キャッシュレス決済の普及や、新たな働き方が実現しています。また、人口減少や少子高齢化の急速な進展によるサービスの担い手不足に対応し、持続可能な社会を形成していくためにも、デジタル技術の活用による変革がますます重要となっています。
- このような背景を踏まえ、滝川市としても、デジタル技術を積極的に活用し、市民の利便性向上や行政サービスの変革を実現し、地域の利便性向上を実現します。

滝川市が目指す姿

- ✓ 職員のデジタルスキル向上、職員の働き方の多様化への対応
- ✓ 生成AI等、先進技術の積極的活用
- ✓ 業務改善により、きめ細かなサービスに注力する環境を創出 等

本紙P.13



- ✓ オンライン手続拡充や支払処理のキャッシュレス化、電子契約の導入など、手続負担の軽減
- ✓ デジタルに不慣れな市民への対応
- ✓ デジタルを活用した利便性向上
- ✓ きめ細かな行政サービス・支援

行政サービスの担い手である職員自らが変革することで、事業者、市民にデジタル化の恩恵を広く行き渡らせる

中長期(5か年)の視点で取組みを推進 本紙P.5

- デジタル技術の変化は非常に速く、常に最新の状況に合わせて施策の見直しを行う必要があります。
- そのため、本市の中長期のまちづくりと歩調を合わせつつ、定期的に評価、見直しを行います。



目標達成に向けた3テーマ 本紙P.14

- 前DX計画において様々な施策を実行することで、着実にサービス・業務のデジタル化を進めてきましたが、引き続きDXを推進する余地が残されています。本DX推進計画では以下の3テーマを掲げ、地域の利便性向上を合言葉に推進していきます。

市民生活を支えるDX活用

- 市民と行政サービスのタッチポイントにデジタルを活用することで、市民生活の利便性向上を図り、安心・安全・快適に過ごせる環境を実現

DXによる働き方アップデート

- 市職員の働き方をデジタルによりアップデートし、魅力ある職場を作ることで、市役所の人的資本の価値向上を実現

DXを支える環境整備

- より効率的・効果的に本市全体へDXの恩恵を行き渡らせるため、DX活用に必要な環境を整備

目標達成に向けた12の施策 本紙P.16

- DX推進計画の実行においては、各施策の取組み状況や達成状況を客観的に可視化し、評価します。
- 各施策が想定した成果を得られていない場合には、より実態に即した形に軌道修正を図ることで、当初の計画に縛られず、柔軟な行政運営を実現します。

市民生活を支えるDX活用

DXによる働き方アップデート

DXを支える環境整備

重点施策

① フロントヤード改革の推進 強化

- 書かない窓口やキャッシュレス決済、コンビニ交付の拡充を進め、窓口における市民の負担軽減や、職員の業務効率化を図ります。

② 行政手続きのオンライン化の推進

- オンライン申請に対応する手続きの範囲を拡大し、行政手続きのオンライン化を推進します。
- オンライン申請時の申請項目や申請プロセスの効率化を検討し、利便性の向上を図ります。

③ 利便性の高い情報発信 強化

- 市民向け情報のリアルタイム発信体制を強化し、発信の重要度設定やターゲット整理を通じて効果的な情報提供を推進します。

市民・事業者に届ける
(認知度の向上)

④ 生活改善に向けた相談支援 強化

- 支援対象選定の作業手順を統一し、事例研究・勉強会を通じて選定業務の質向上を図ります。

⑤ 子ども政策DXの推進 新規

- 関係各課の保有データの電子化と横断的なデータ連携を推進し、業務の効率化を図ります。
- サービス予約など子育て関連業務のデジタル化を推進し、市民の利便性を向上を図ります。

⑥ 業務BPRの推進 強化

- 業務プロセスの見直しを通じて、職員体制や労務環境の改善を図ります。
- ペーパーレス化の推進、適切なシステム導入を通じて、業務の効率化を図ります。

⑦ 働き方改革の推進 強化

- モバイルワーク環境の構築、利用拡大を推進することで、職員のニーズに適した働き方を実現し、業務の継続性の確保と職員のワークライフバランスの向上を図ります。

⑧ オープンデータ利活用環境の整備

- 定期更新ルールと運用体制の整備により、信頼性の高いデータ提供を図り、システム調達時のオープンデータ対応を推進します。

⑨ EBPMの推進強化 強化

- 庁内データの電子化を通じてEBPM推進の環境を構築しつつ、EBPMに関する説明会の実施やユースケース拡充を通じてデータ利活用の高度化を図ります。

政策の高度化を実現

⑩ 情報システムの標準化・共通化

- 標準準拠システムへの円滑な移行と安定稼働を支えるシステム基盤の構築・運用を推進します。

⑪ セキュリティ対策の徹底

- 情報セキュリティポリシーの継続的改訂と研修強化により、庁内の情報セキュリティ体制を強化します。

⑫ デジタル人材育成の強化 強化

- DX推進リーダー配置、スキルマップ整備により、職員のスキル習得体制を強化します。
- 職員へのスキル紹介や伴走型支援、継続研修を通じて、主体的にDXに取り組む組織風土を醸成します。

DXを支える
人材の創出